線形代数 A 第 2 回演習課題

名前: 長田悠生 学籍番号: 202310330

2023/6/4

IATEX

1.(1)

この方程式の切片は b より、(x,y)=(0,b) なので、位置ベクトル $\boldsymbol{a}=(0,b)$ とおける。また、方向ベクトル は、この方程式の傾きより、方向ベクトル $\boldsymbol{v}=(1,a)$ とおける。

$$\therefore \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ b \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 1 \\ a \end{pmatrix}$$

1.(2)

x=c となるのは y=0 のときより、位置ベクトル ${\bf a}=(c,0)$ とおける。また、y 軸と並行なので傾きを (x,y)=(0,1) と表せる。よって、方向ベクトルは ${\bf v}=(0,1)$ とおける。

$$\therefore \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} c \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

1.(3)

2.(1)

直線l, mをパラメータ表示する。

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 3 \end{pmatrix} \cdots l$$
$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 \\ b \\ 2 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 5 \\ -2 \\ 4 \end{pmatrix} \cdots m$$

平面 H の法線ベクトルを $m{n}=\begin{pmatrix} X\\Y\\Z \end{pmatrix}$ とおく。また、l の法線ベクトルを $m{l}_v$ ・m の法線ベクトルを $m{m}_u$ とおく。

このとき、 $(\boldsymbol{n}, \boldsymbol{l}_v) = 0$ かつ $(\boldsymbol{n}, \boldsymbol{m}_u) = 0$ より、

$$(n, l_v) = 2X + Y + 3Z = 0 \cdots \textcircled{1}$$

$$(n, m_u) = 5X - 2Y + 4Z = 0 \cdot 2$$

①と②の式より、
$$\begin{pmatrix} X \\ \frac{7}{10}X \\ -\frac{9}{10}X \end{pmatrix}$$

平面を表す式は、法線ベクトル $\mathbf{n}=\begin{pmatrix} a \\ b \\ c \end{pmatrix}$ 、位置ベクトル $\mathbf{x}=\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ ・ $\mathbf{a}=\begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ z_1 \end{pmatrix}$ としたとき、以下のように表せる。

 $a(x - x_1) + b(y - y_1) + c(z - z_1) = 0$

上記の式を 2.(1) で求める平面の方程式に当てはめる。すると、以下の方程式になる。それが平面 H の方程式である。 $\therefore 10x + 7y - 9z = 0$

2.(2)

l の位置ベクトルを l_a ・m 位置ベクトルを m_a とおくと、

$$m{l}_a = egin{pmatrix} a \ 0 \ 1 \end{pmatrix}$$
、 $m{m}_a = egin{pmatrix} 1 \ b \ 2 \end{pmatrix}$ である。

この2点は、平面H上の点より、hの方程式を満たす。よって、

$$10 \times a + 7 \times 0 + -9 = 0$$

$$\therefore a = \frac{9}{10}$$

$$10 + 7b - 18 = 0$$

$$\therefore b = \frac{8}{7}$$

3.(1)

まず、交線の方向ベクトルを求める。

x - y + 2z = 1 を平面 A、2x + y - z = -1 を平面 B とおく。

また、平面 A の法線ベクトルを n_A 、平面 B の法線ベクトルを n_B とおくと、

$$m{n}_A = egin{pmatrix} 1 \ -1 \ 2 \end{pmatrix}$$
 , $m{n}_B = egin{pmatrix} 2 \ 1 \ -1 \end{pmatrix}$

3.(1) で求める交線を $\mathbf{l} = \mathbf{a} + t\mathbf{v}$ とおくと、

$$(m{n}_A,m{v})=0$$
 かつ $(m{n}_B,m{v})=0$ であるので、 $m{v}=egin{pmatrix} X\Y\Z \end{pmatrix}$ としたとき、

$$(\boldsymbol{n}_A, \boldsymbol{v}) = X - Y + 2Z = 0 \cdots \bigcirc$$

$$(\boldsymbol{n}_B, \boldsymbol{v}) = 2X + Y - Z = 0 \cdots 2$$

①と②より、

$$v = \begin{pmatrix} X \\ -5X \\ 3X \end{pmatrix}$$

また、位置ベクトルを求める為に、z=0のときのx、yの値を求める。

$$x - y = 1 \cdots \overline{\Psi}$$
 $\overline{\mathbf{m}}$ A

$$2x + y = -1 \cdots$$
 \forall $\exists B$

上記の連立方程式を解くと、以下の答えが出てくる。

$$(x, y, z) = (0, -1, 0)$$

そのため、位置ベクトル m は、 $m = \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}$

$$\therefore \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} 1 \\ -5 \\ -3 \end{pmatrix}$$

3.(2)

求めたい平面の法線ベクトルをnとおくと、nはlの方向ベクトルで、

$$l$$
 と xy 平面との交点を通ることから、位置ベクトル $m{m}$ は、 $m{m}=\begin{pmatrix} 0\\ -1\\ 0 \end{pmatrix}$

平面の法線ベクトルと位置ベクトルを、平面の方程式に当てはめると以下のような式になる。 以下の式が、3.(2) で求める平面の方程式である。

$$\therefore x - 5y - 3z - 2 = 0$$